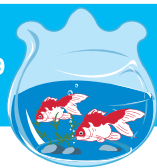


滋賀県議会 対話の会・しがねっと

〒520-8577 大津市京町4丁目1-1 県庁2階 [TEL] 077-528-4057 [FAX] 077-527-1839

[E-mail] info@shiga-net.jp [URL] shiga-net.jp



6月 定例県議会

安心・安全 滋賀の未来

この度の東日本大震災では、未曾有の大災害で未だ収束の目途の立たない状況にあります。原発の安全神話は崩れ、「脱原発」へ世の中は大きく変わろうとしています。

このような状況の中、滋賀県では、昭和56年から防災計画を策定してきましたが、広範囲に広がった放射能汚染などをふまえて「卒原発」を掲げる嘉田知事のもと、滋賀県が目指す安心・安全の住み心地日本とはどのようなものなのか、沢田議員が代表質問に立ちました。

原子力発電に対する認識

Q 福島第一原発の事故をふまえて、福井県内に林立する原発に対する安全対策について、知事はどのように考えているか。

A 知事 3月30日に経済産業省から各原子力事業者に対し、緊急安全対策について①発電機の点検、電源車の配備②消防ポンプ車を利用した冷却水注入③使用済み燃料プールの冷却法など、更に、6月7日にはシビアアクシデントが発生した場合でも迅速に対応するため①中央制御室の作業環境の確保②通信手段の確保などの指示がでています。私自身、その技術とそれを取り巻く自然、立地条件との不具合、あるいは技術と社会的組織の不具合から起きると考えており、個別の仕組みを作ったからといって安全安心が確保できたとは言えないと考えています。



代表質問に立つ 沢田亨子議員

A 知事 EPZは、機械的に引くため、事故発生時には、人命を守るため避難区域あるいは防護区域を即座に再設定しなければいけません。県としては、地形気象を考慮した多様なシミュレーションを事前に準備し、万が一に備え、対応していきます。

Q 現在稼働していないモニタリングポストの速やかな再稼働と増設およびモニタリングカーの常備と専門スタッフの配置など、監視体制の強化充実について所見を伺う。

A 知事 専門家からなる検討委員会です。それぞれの体制の議論をしており、その結果をふまえて、できるだけ早く対応を決定したいと考えています。更に、専門スタッフについては、原子力安全技術センターの防災講座やモニタリング講習会等に職員を派遣して、育成に努めています。

Q 敦賀発電所から30km以内の避難者ほどの位の人数が伺う。

A 知事 滋賀県内で約7,600人です。

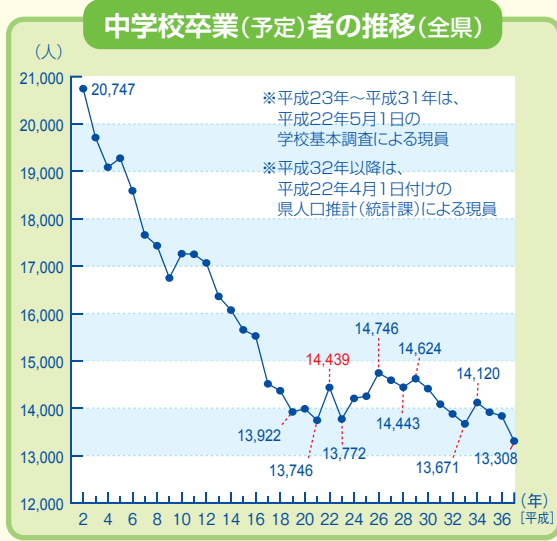
滋賀県のエネルギー政策

Q 滋賀県の本来持っている自然観をどう捉えているか。そして、滋賀のエネルギーについて、どのように考えているか。

A 知事 身近な里山を使っていた時代と比べ、原子力発電所の「遠いエネルギー」などに依存してきており、今こそ、滋賀が本来もつ自然観を活かして、暮らしと近い自然、太陽や水、あるいは、バイオマス、新などを活用した、地域分散型の「近いエネルギー」を再び埋め込んでいくことが重要だと考えています。

Q エネルギーの地産地消へ移行し、近い自然を使って創電すべきと考えるが、現時点でどのような発電を考えているか。

文教警察常任委員会 提案された高校再編計画(案)を高波議員が質す。



7月5日の一般質問において、知事に「魅力と活力のある県立学校づくり」に対する基本姿勢を尋ねたところ、高校再編については、キャリア形成、そして、地域との連携を重視する改革であるという回答をいただきました。この観点からすると今回、県教委が示された高校再編計画は、部分的な改革、対蹠的な改正に終始し、本県教育の本質的、根本的な問題に届いていないように思われます。

通学区の全県区が実施されて以降、県内高校の序列化、遠距離通学者の増加、湖南地域の受験競争激化などの問題点が言われる中、これらの総括が不十分のまま、高校再編計画が進められているのではないのでしょうか。

① 平成23年～平成36年までの約13年間、生徒数は横ばい状態で推移しますが、何故か、生徒数減を前提として高校改革を行われるのですか。

② 県立中学校は1学年2学級の、小規模模校ですが、県教委は県立中学校の存続を表明する一方で、高校では4～5学級を小規模校として統廃合の対象にしています。これに矛盾はありませんか。

③ ノーマライゼーションの理念に基づき、特別支援学校を併置する計画がありますが、生徒数が多い湖南地区に、この併置校がないということは理念に反すると思われませんか。

以上の観点からこの計画(案)については、広く県民の声を聞き、迅速に陥ることなく、丁寧に明確に説明しながら計画を進めるべきだとの意見を述べました。

議員報酬削減案・賛成
6月議会初日に議員提案された議員報酬2割カットの採決に際し、私たちは、削減した財源を東日本大震災の復興復旧支援金に充てるべきだと表明し、賛成した。

高校再編計画
高校再編について、適正規模は概ね1学年6～8学級とされているが、何を基準としているのか。集団としての規模を重視するのか、人材育成の内容を重視するのか、伺う。

教育長 多様な科目の開設など幅広い教育課程の編成、部活動や学校行事など生徒の切磋琢磨する機会の確保などの観点から、1学年あたり概ね6学級から8学級が標準と考えています。

リニューアル!!



富波 義明
野洲市選挙区
しがねっと副代表

沢田 亨子
大津市選挙区
しがねっと政調担当

清水 鉄次
高島市選挙区
しがねっと代表

駒井 千代
草津市選挙区
しがねっと副政調担当

井阪 尚司
蒲生郡選挙区
しがねっと副代表